

令和7年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（ 9 ） 学校名 豊田市立平井小学校

1 テーマ

「やまびこの森」や校庭の自然と触れ合う縦割り班活動
～やまびこ遊びで自然と友達になろう～

2 ねらい

- ・やまびこの森（学校林）を活用し、自然と触れ合う縦割り班（以下、やまびこ班）活動を通して、自然の素晴らしさを感じ、児童の思いやりの心、自律心を育む。
- ・やまびこ班活動を通して、異学年で交流することによりコミュニケーション力を高めるとともに、高学年の児童の計画性やリーダー性の育成を図る。

3 活動内容

（1）やまびこ遊び

月1～2回（15分程度）、やまびこ班での遊び（やまびこ遊び）の時間を確保し、異学年交流を行った。高学年の児童の計画により、運動場・体育館・やまびこの森などの場所でその場に合った遊びをした。

（2）どんぐりごま大会

やまびこの森で拾ったどんぐりを用いて、児童全員がごまを作製した。毎年、6年生と1年生、5年生と2年生と一緒にごまに適したどんぐりを拾ったり、ごまを作製したりしている。作製後は、どんぐりごま大会に向けて各教室やそれぞれのやまびこ班活動の教室で練習した。大会本番は、体育館にて6年生の進行のもと、「長生きごまの部」「けんかごまの部」の2つの部門で競い合った。

（3）やまびこカルタ大会

学校の自然を題材にしたやまびこカルタを用いた大会を実施した。プチカルタ大会は、やまびこ班ごとに教室でカルタ取りをし、ジャンボカルタ大会は、全校が体育館に集まり、学習机ほどの大きさのカルタを取り合った。プチカルタ大会では、各やまびこ班の高学年が中心となって会を進めた。ジャンボカルタ大会では、高学年のリーダーが司会をしたりカルタの読み札を読んだり、審判をしたりするなど、会の進行を行った。

4 成果と課題

（1）成果

やまびこ遊びでは、6年生が計画した宝探しやかくれんぼをやまびこの森で楽しみながら「わあ、栗のいがいがだ」「どんぐりの帽子がある」「落ち葉の音が気持ちいい」とやまびこの森の自然に親しむ様子が見られた。やまびこ遊びの後に、6年生が班員

に感想を聞くと、「いつものかくれんぼも森の中でやるとわくわくした」「次もやまびこの森で遊びたい」という感想が聞かれ、普段は感じられない自然のおもしろさを感じたことが伝わってきた。また、森の中で活動するときは「すべるからゆっくりね」「一緒に行こう」と上級生が下級生に声をかけたり、手を差し伸べたり、互いのことを思いやる様子が見られた。

どんぐりごま大会の時期になると、少しでもいいどんぐりを見つけるために森の中を歩き回りながら「外よりも涼しい」「何だか地面がふわふわする」と自然を五感で感じる姿が見られた。どんぐりごま大会に向けた練習では「そのどんぐり大きいね。どこにあったの」「こうやって回すとよく回るよ」「小さくても強いね」とどんぐりごまを共通の話題として異学年のコミュニケーションが活発になった。どんぐりごまを上手く回すコツを教え合ったり、「すごいね」と声をかけたり、思いやりあふれる姿が見られた。また、集団生活に不安を抱える児童も、どんぐりごまをきっかけに学級ややまびこ班の輪に入ることができた。

どんぐりごま大会とともに長年継続しているやまびこカルタ大会。やまびこカルタの題材となっているのは校内の樹木である。その樹木を見つける樹木ビンゴを通して様々な樹木の特徴を知ったり、季節の移り変わりの美しさを感じたりすることができた。「日曜日に大きなメタセコイヤがある公園に行ったよ」「ナンテンの実があったよ」など、これまで何気なく通り過ぎてきた自然に目を向けるきっかけにもなった。

やまびこ遊び、どんぐりごま大会、やまびこカルタ大会の計画、準備、進行は高学年が中心となって行った。行事後の高学年の子どもたちの振り返りには「1年生が上手にこまを回せるようになって自分もうれしかった」「前は時間が足りなかったけれど、今回は計画通り進められて良かった」とあり、リーダーとしての自覚や責任の高まりが表れていた。

(2) 課題

やまびこの森の老朽化における維持管理の難しさがある。年々、朽ちかけた樹木、倒木の恐れがあるものが増えてきている。また、森の中を歩き慣れない児童にとって、森の中での活動は怪我を伴う場合がある。森全体の見通しをよくする整備を行っていたのだが、児童の安全管理が難しい。さらに、熱中症指数が高い日が多く、外での活動ができないことが今後も予想され、活動回数が十分に確保できない心配がある。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・毎日、学校ホームページを更新する中で、やまびこ遊び、どんぐりごま大会、やまびこカルタ大会などの各活動の様子や練習場面を紹介した。
- ・学年通信にやまびこ班活動の様子を掲載した。
- ・昨年度よりどんぐりごま大会を保護者や地域の方にも参観していただけるよう案内を出し、多くの方に参観していただいた。
- ・やまびこ班活動の振り返りを記載したキャリアパスポートを家庭へ持ち帰り、活動に対する児童の目標や取組を保護者へ知らせ、コメントをいただいた。